



学びの ページ

かしはらじんぐう 橿原神宮

奈良県の橿原神宮では、日本の第一代天皇である神武天皇とその皇后がお祀りされています。かつて、天照大御神の五代目子孫に当たる神武天皇は、争いや困窮のない平和な国を築くために、日向国・高千穂（現在の九州地方）から東を目指しました。道中で数多の困難に見舞われたながらも、二六八四年前に畝傍山の麓に「橿原神宮」を建立し、日本国の土台を築かれたのです。橿原神宮はまさに日本発祥の地であり、日本の原点ともいえる重要な場所です。

金剛さまは、御皇室に対して深い崇敬の念を抱いていました。そのため、建国の祖神である神武天皇が目指された「和の心」を拝し、建国の精神を胸に刻んで生活することを会員に呼びかけるために、太陽精神碑が建立された際には、一万余にも及ぶ神武天皇像を謹製し、全国会員や関係各所へ配布しました。

先人、先祖のお蔭です。さらに、「人の物を盗んではない」「お年寄りには席を譲る」といった、日本では当たり前の常識が世界各国から称賛されている現状を見れば、建国以来脈々と受け継がれてきた日本人の国民性がいかに素晴らしいかが分かります。

橿原神宮では、まず日本という国を築き上げてくださった神武天皇をはじめ、国を守り続けてくれた先人、先祖に対して、感謝を捧げましょう。そして日本の伝統精神である「和の心」を発揮し、共存共栄の世界を築くため、一層の努力精進をお誓いさせていただきます。

◎生活の中で「和の心」を発揮するには具体的にどんなことをしたら良いか、皆で話し合ってみよう。